



第 316 号(令和5年(2023 年)9月 27 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

9月4週は、1件の死亡遭難を含む6件の遭難が発生しました。9月に入ってから、毎週死亡遭難が発生しています。

京ヶ倉は人気のある里山ですが、「馬の背」と呼ばれる場所は登山道の両側が絶壁で切れ落ち、険しくなっています。里山は標高が低いため、危険箇所が少ないイメージを持たれがちですが、急斜面での滑落や道迷い等多くのリスクが潜んでいますので、行動中は慎重な行動を心掛けましょう。

空木岳の遭難は、長時間行動していたことにより日没となり、さらに疲労も蓄積して行動不能となってしまった事案です。遭難者は、雨で体がぬれて低体温症の危険もある状況でしたが、救助隊が夜間出動したことにより無事救助されました。

登山中における夜間行動は、視界が利かないだけでなく、気温が下がり体が冷える等多くのリスクをもたらします。

万一、予定していた行動よりも大幅に遅れてしまったり、悪天候に見舞われてしまったときには、安定した場所や風雨をしのげる場所でビバークする判断も必要です。

県内では、徐々に気温が下がり、標高の高い山域では、最低気温が2度となり氷が張った場所もありました。

日中は日が当たれば暖かく感じることもありますが、稜線上で風に吹かれると体が冷えて、手がかじかんだり寒さで足が震えてしまうなど行動にも影響が出てしまうこともあります。

登山を計画されている方は、普段携行している装備にプラスして、「寒さ」や「防風」対策にダウン、フリース、手袋等の装備を携行しましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9月19日	京ヶ倉	男	54	行方不明	不明	単独で登山に行ったまま行方不明
16日頃、単独で京ヶ倉に登山に行つたと思われる男性(54歳)が、19日、行方不明となつており、安曇野警察署山岳遭難救助隊員等が捜索を行っています。						
9月20日	北アルプス 爺ヶ岳	男	81	死亡	発病	2人パーティで山頂から柏原新道を下山中、 発病

19日から2人パーティで爺ヶ岳に入山した男性(81歳)が、20日、山頂から柏原新道を下山中に発病して体調不良となる山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。21日、搬送先の病院で死亡が確認されました。

9月21日	中央アルプス空木岳	男	74	無事救出	疲労	2人パーティで山頂から池山尾根を下山中、疲労により行動不能
-------	-----------	---	----	------	----	-------------------------------

20日から2人パーティで中央アルプス空木岳に入山した男性(74歳)が、21日、山頂から池山尾根を下山中、疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、駒ヶ根警察署山岳遭難救助隊が出動し、救助しました。

9月23日	北アルプス乗鞍岳	男	59	負傷	転倒	8人パーティで剣ヶ峰から畳平に向けて下山中、転倒、負傷
-------	----------	---	----	----	----	-----------------------------

23日、8人パーティで畳平から入山した男性(59歳)が、剣ヶ峰から畳平に向けて下山中、転倒して負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、長野県消防防災ヘリが出動して、救助しました。

9月24日	北アルプス白馬岳	男	65	負傷	転倒	単独 で白馬大池から白馬岳に向けて縦走中、バランスを崩し、転倒、負傷
-------	----------	---	----	----	----	---

23日から単独で入山した男性(65歳)が、24日、白馬大池から白馬岳に向けて縦走中、浮石によりバランスを崩して転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、長野県山岳遭難防止常駐隊員が出動して、県警ヘリで救助しました。



9月24日	北アルプス前穂高岳	男	24	負傷	その他	単独 で明神岳から前穂高岳に向けてバリエーションルートを縦走中、膝をひねり、負傷
-------	-----------	---	----	----	-----	---

23日より単独で上高地から入山した男性(24歳)が、24日、明神岳から前穂高岳に向けてバリエーションルートを縦走中、膝をひねり負傷して、行動不能となる山岳遭難が発生し、長野県消防防災ヘリが出動し、救助しました。

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月24日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	235	28	4	130	97	259	162
内)単独登山	86	12	1	42	31	86	55
令和4年(2022年)	214	25	2	103	106	236	130
前年同期比	+21	+3	+2	+27	-9	+23	+32
内)単独登山	+15	+1	±0	+16	-2	+15	+17

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月24日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	52	22.1%	11	0	26	19	56
	後立山	53	22.6%	6	2	35	15	58
	その他	27	11.5%	2	0	12	15	29
	計	132	56.2%	19	2	73	49	143
中央アルプス	14	6.0%	0	0	10	7	17	
南アルプス	4	1.7%	1	0	1	3	5	
八ヶ岳連峰	37	15.7%	3	0	18	20	41	
その他の山岳	48	20.4%	5	2	28	18	53	
計	235		28	4	130	97	259	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月24日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	69	29.4%	17	0	54	0	71
転倒	59	25.1%	0	0	59	0	59
病気	16	6.8%	3	0	0	13	16
道迷い	20	8.5%	0	0	0	26	26
落石	8	3.4%	1	0	7	0	8
雪崩	3	1.3%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	32	13.6%	1	0	0	37	38
不明・他	28	11.9%	3	4	8	20	35
計	235		28	4	130	97	259

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～9月24日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	6	7	44 24.7%	0	0	0	3	3	13 16.0%	10	57 22.0%
20代	0	0	8	9	17		0	0	3	2	5		22	
30代	3	2	10	5	20		1	0	0	4	5		25	
40代	4	0	12	9	25	59 33.1%	1	0	9	6	16	38 46.9%	41	97 37.5%
50代	5	1	20	8	34		3	0	12	7	22		56	
60代	4	0	24	15	43	75 42.1%	1	0	10	7	18	30 37.0%	61	105 40.5%
70以上	6	1	13	12	32		0	0	8	4	12		44	
計	22	4	88	64	178		6	0	42	33	81		259	
比率	68.7%						31.3%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝